

はんてんさいきんびょう
斑点細菌病

病原菌名 *Clavibacter michiganensis* subsp. *michiganensis*

発生条件

20～25℃の多湿条件で感染しやすい。露地栽培で多く施設栽培では比較的少ない。種子伝染するほか、病原菌が被害茎葉とともに土壤中に残り、伝染源となる。



葉では、はじめ1～2mmの暗褐色小斑点が発生し、周囲が黄化する。果実では中央がコルク化した褐色のかさぶた状病斑となる。